

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

平成27年5月のきごころ通信 (先月の話題)

景況感「意外」な横ばい — 日銀短観

大企業製造業、にじむ慎重姿勢 業績改善でも自信持てず

中国の成長鈍化を懸念 投資より賃金・配当優先



日銀が発表した全国企業短期経済観測調査は、大企業製造業の景況感を示す業況判断指数がプラス12と、前回2014年12月調査と同じ水準にとどまりました。

輸出や企業業績の改善の割に景況感が戻らないのはなぜでしょうか。景気は緩やかな回復が続くものの、企業が円安や海外経済の先行きを慎重にみている姿が浮かびます。

(2015年4月2日 日本経済新聞記事から抜粋)

日銀短観3月 ほぼ横ばい

電気機械など一服感 利益計画は高水準



日銀大阪支店は、近畿の3月の企業短期経済観測調査を発表しました。

全産業の業況判断指数はプラス6で、昨年12月の前回調査からほぼ横ばいでした。

非製造業は総じて堅調でしたが、電気機械などの製造業で一服感が出ました。

2015年度の利益計画は2014年度並みの高水準を見込んでいて、企業は攻めの姿勢を崩していないようです。

(2015年4月2日 日本経済新聞記事から抜粋)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

木造密集地 すっきり変身 住宅各社、五輪にらみ需要開拓

住友林業 新工法で4階建て



住宅メーカーが老朽化した木造住宅密集地域での建て替えに力を入れます。

住友林業は、狭い場所でも工事しやすい新工法の4階建て住宅を開発。積水ハウスや大成建設も相談会や担当者を増やします。

東京や大阪に多い木造住宅密集地域は、直下型大地震などで甚大な被害を受ける危険性が高く、国は2020年度までの解消を急いでいます。

国土交通省の推計では、地震による倒壊や延焼の危険性が著しく高い密集市街地にある住宅は、全国で46万戸以上に達します。

(2015年4月4日 日本経済新聞記事から抜粋)

運動の前と後、大事なケア 始動前、大きく体動かして

整理体操など 血行促し疲労和らげる



少し息が切れたり、汗ばんだりする程度の軽めの運動から始めることが大切。心拍数を上げ、関節の可動域を大きくして運動に入る態勢を整えます。

運動前にする動的ストレッチ

肩甲骨とその周りを動かす：①両肘を曲げて、肩に手を付ける → ②その体勢で、腕を左右交互に振る → ③肩甲骨が動いていることを意識する

脚を上げ、回しながらウォーキング：左右の脚を交互に、ゆっくり大きな動作で回すように上げ、下す

運動後にする静的ストレッチ

ゆっくり筋肉を伸ばし、その後、元に戻す

脇腹のストレッチ：かかしのような体勢から上体をゆっくり真横に倒す。左右交互にこの動作を繰り返す。

おしりのストレッチ：片方の足にもう片方の足を乗せ、お尻を意識しながら上半身を前に倒す。

ふとももの後ろ、ふくらはぎのストレッチ：真っ直ぐ立ち、両手で棒を背面に付け、みぞおちの高さに保つ。そのまま、上半身を前に倒す。

(2015年4月4日 日本経済新聞記事から抜粋)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

日本のホテル、今や割安 円安ドル高寄与、訪日客呼ぶ



世界で最もホテル代が高い都市はニューヨークで、4つ星ホテルに一泊すると日本円で44,000円近くかかります。一方、夕食代やタクシー代は、欧州の都市が高い傾向。こうした都市と比較すると、東京の物価は低く、かつて世界一物価が高い都市と言われた頃の面影はありません。

(2015年4月6日 日本経済新聞記事から抜粋)

女性向け賃貸住宅 充実 — 大和ハウス

ペット見守りや家事代行



大和ハウス工業は、ペットの様子を外出先で確認できるカメラなどを備えた女性向け賃貸住宅の受注を始めると発表しました。女性の社会進出により、単身女性が増えていることに着目しました。

大きな洗面化粧台、宅配ボックス、生ごみを処理できる「ディスポーザー」を土地所有者に提案。警備会社を通じて家事代行サービスも契約できます。

(2015年4月7日 日本経済新聞記事から抜粋)

開業2年待たず一億人 — グランフロント 訪日客増加が寄与



JR大阪駅北側の大型複合施設「愚論フロント大阪」の来場者数が、延べ一億人を突破しました。2013年4月26日の開業。当初計画の7300万人を上回りました。

商業施設部門の2年目の売上高は初年度実績を上回りました。オフィス部門の契約率も高まりました。

(2015年4月7日 日本経済新聞記事から抜粋)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

財布の中、現金多めに？ — お札の量、11年ぶり伸び

2014年度3.5%増の87.3兆円



世の中に出回るお札の量が増えています。2014年度のお札の平均流通量は、前年度比3.5%増の87兆3千億円と、11年ぶりの高い伸び。2年間で流通量は6兆円増えました。お札の流通量の増加は、個人や企業が手元に置く現金を増やしていることを示しています。昨年12月末時点で家計が保有する現金は約60兆円。流通量の3分の2を個人が持っている格好です。
(2015年4月7日 日本経済新聞記事から抜粋)

訪日宿泊エリア拡大 京都・大阪だけじゃない

和歌山 昨年最高30万人 滋賀 全国2位7割増



関西を訪れる外国人観光客の行動パターンが多様化しています。2014年の和歌山県内の外国人宿泊者は、過去最高の303,574人となりました。2013年に初めて20万人を超えました。定番の大阪、京都だけでなく、兵庫県や滋賀県などにも商機が訪れています。
(2015年4月8日 日本経済新聞記事から抜粋)

下請けの受注単価改善 — 東大阪商議所2014年末時点まとめ



東大阪商工会議所がまとめた下請け企業の受注に関する調査によると、2014年末時点の受注量が1年前より増えた企業の割合は、2013年末調査より14.9ポイント低い23.4%でした。
受注単価は1年前と比べ「値下がり」と答えた企業が4.9ポイント低下の14.2%、「値上がり」とした企業が1.3ポイント上昇の7.8%。「変化なし」は78.0%。
採算状況は「悪化した」という企業が40.3%で1.9ポイント低下しました。
(2015年4月9日 日本経済新聞記事から抜粋)

各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

景気判断 3地域上げ — 4月 日銀地域経済報告

北陸は新幹線効果 近畿・東海輸出好調



日銀は4月の地域経済報告で、近畿、東海、北陸の3地域の景気判断を引き上げました。企業業績の回復が雇用や賃上げを通じて、家計に広がってきたことを評価しました。

(2015年4月14日 日本経済新聞記事から抜粋)

住宅 突破口は介護ロボ — 大和ハウス、装着型3製品

動き楽に、精度向上



大和ハウス工業がロボットを成長の突破口にしようとしています。約2割を出資する筑波大ベンチャーの装着型ロボットの新製品を5月に発売します。

(2015年4月14日 日本経済新聞記事から抜粋)

「正しいこと」が通じないわけ

バイアス（先入観や偏見）は人間の本性



人の意思決定の大半は、直感に委ねられています。その方がエネルギーを使わず、効率的なだけでなく、「概ね正しい」のです。が、「時には決定的に間違っている」のです。

その間違いを「時間を掛けて熟慮する知的活動」がチェックできればいいのですが、人間の注意力は有限なので、簡単になくなってしまいます。

(カーネマン著「ファスト&スロー」2015年4月14日 日本経済新聞記事から抜粋)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

男女とも、女性とは働きにくいと感じている



Q. 男性と女性、一緒に働きやすいのはどっち？

	男性	女性	どちらともいえない
男性回答	43.8%	5.7%	50.5%
女性回答	40.6%	7.5%	51.9%

(2015年4月18日 日本経済新聞記事から抜粋)

ストレスによる胃腸の不調。改善するには



①記録を付け、合う食事やストレスの原因を探る。

②「75点で合格点」(そこそこまあまあでOK)との考え方を持つ。

③脂肪控えめで規則正しい食事。良く噛んで食べる。

④十分な睡眠と毎日少し汗ばむ運動で自律神経を整える。

(2015年4月18日 日本経済新聞記事から抜粋)

止まらぬ地方の人口減 896の消滅可能性都市



「日本創成会議」は昨年5月、896の「消滅可能性都市」を特定しました。全国1800ある市区町村の半分に当たる規模です。

消滅可能性都市が多いのは、東北や四国、九州。

女性が一生に産む子供の数を示す「合計特殊出生率」は、地方よりも都市部の方が低めです。沖縄の1.94に対し、東京は1.13と全国で最も低くなっています。

政府は、2060年に1億人程度の人口を保つのが目標です。

(2015年4月22日 日本経済新聞記事から抜粋)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

大成建設、利益20年ぶり水準

前期営業 需要拡大、受注価格が上昇 労務費の増加吸収



大成建設の2015年3月期の連結営業利益は700億円強と、前の期より30%増えたようです。1995年3月期以来、20年ぶりの高水準です。

首都圏の再開発などで建設需要が拡大し、受注価格が上昇しました。人手不足に伴う労務費の増加を吸収し、採算が想定以上に改善しました。

(2015年4月22日 日本経済新聞記事から抜粋)

工場・住宅 共存探る

後継者難、住宅転用進む

堺市 防音工事の半額助成

東大阪市 関係づくり経費負担



関西の自治体の中で、工場の防音工事や協議活動など、周辺住民との共存に向けた取り組みを後押ししたり、住宅開発を規制したりする動きが広がってきました。工場や商業施設が集積する市街地で、マンションや戸建て住宅が増えているためです。

騒音などの問題から一般住宅との混在は、放置すると税収、雇用などの面で地域経済の核となる工場の操業などに支障をきたし、集積衰退につながるという懸念があります。

(2015年4月22日 日本経済新聞記事から抜粋)

近畿の景気判断上げ — 財務局、4月 5四半期ぶりに



近畿財務局は4月の管内経済情勢報告で、近畿の景気について「緩やかに回復しつつある」とし、5四半期ぶりに総括判断を引き上げました。生産や雇用が改善しています。

(2015年4月23日 日本経済新聞記事から抜粋)



各新聞など情報誌の記事をピックアップして掲載しています。
木のこと、経済、福祉、災害、エコ、住まいなど、色々な話題です。

走れるSC 日本初登場 — 屋上に300mトラック



東急不動産は、大阪市内で商業施設「もりのみやキューズモールBASE」を開業。

スポーツをテーマにした店舗や飲食店、屋上にはフットサル場や一周300mのランニングトラック（無料）を設けました。年400万人の来店を見込んでいます。

(2015年4月24日 日本経済新聞記事から抜粋)

骨粗鬆症、男性もご用心

年齢とともに変わる骨量、気をつけたいこと



(主に女性) **骨量**：20歳前ピーク。45歳ごろから減り始める。50歳代から手首の骨折が増える。60歳代から背骨の圧迫骨折や大腿骨の骨折が増える。
対策：十分カルシウムを摂る。無理のない範囲で骨に重さ負荷のかかる運動。
特に気をつけたいケース：月経不順、過度のダイエットや飲酒、喫煙、細身、家族が骨粗鬆症で骨折、糖尿病など生活習慣病（予備軍）

※骨粗鬆症と推定される患者数1280万人のうち、300万人は男性。

(2015年4月25日 日本経済新聞記事から抜粋)

1516棟の看板「補修必要」 — 国交省 落下事故受け調査



全国の建物の緊急調査で、国土交通省は報告があった約48,000棟のうち、1516棟で看板の補修が必要とする調査結果を公表しました。

(2015年4月28日 日本経済新聞記事から抜粋)

